

質疑応答

●市民

初めて説明会に参加した。2年前の説明会の反響、住民の皆さんの意見、反応はどのような感じだったのか。

◆兵庫県

2年前の説明会では、山を切っていく、森として再生していかないといけないということは、概ね皆さんが共通で考えていたことだと思う。また、もっと切ったらよいのではという意見も多数あり理解をいただいた反応だったと認識している。

●市民

玉瀬地区の自治会の協力などがあり2年間進んでこられたので、良い方向に向かっていると思うが、西谷は森林ばかりのため、活性化したくても中々手がつけられないと思うので、兵庫県の県有環境林から取りかかってもらいたい。西谷地区は、山林の景色が美しいが、最近、枯れ木も目立ってきており、樹海のようにになると森林が駄目になってしまうため、森の再生は手を加え、それをうまくエネルギーとして活用しながら、間引いていくことが大変重要なことだと思っているため、これからもよろしくお願ひしたい。

●市民

以前、NHKの放送で姫路の方で大阪ガスが木質バイオマスを使って電気を起こすというニュースを見たが、チップをそうした場所へ運んでいくということはできないのか。ボイラーだけでなく、そうした場所で使うのはどうか。

◆兵庫県

大阪ガスが姫路でバイオマス発電を始めているが、発電になるとかなり大きなプラントになる。先ほど説明したボイラーは年間で200トンのチップの量が必要となるが、バイオマス発電になると数万トン必要となる。100倍ほどスケールが異なるため、ここで切ったチップをたくさん供給される場所の一部として使ってもらうのはよいと思うが、当てにされるということになると大変な話になってくる。

バイオマス発電の規模では、森林組合などが数千トンというレベルでチップをつくり供給する形になるが、この地域には森林組合はない。現在、行っているモデルは需要と供給を小さいスケールからじわじわと広げていくもので、急激に森林を大規模で伐採するような取組ではない方向で進めたいと考えている。

●市民

当初の計画から見て、伐採の実績はかなり少ない。当初の計画の想定内だったのか、また、これだけ規模が小さくなり、ボイラーの販売について、売れるために何か考えているのか。なお、2年前は遊歩道やサイクリングロードを作るなどの話があったが、まだ行っていないのか。

◆兵庫県

まずは1つ目の質問の実績が少ないことについては、想定していたよりも大分、需要が少な

かったというのが実情である。これを何とかしたいということで、初期投資が要らないボイラー導入の事業モデルについて、熱供給事業者とどう進めていくかを協議しているところである。そのほかの支援策についても考えていきたい。

遊歩道については玉瀬自治会での説明会の時にも話があがった。先ほど資料7ページで示した作業道1号は、そのまま伸ばして近畿自然歩道に突き当たるという構想である。ボイラーの需要が少なかったため、まだ伸びてはいないが、そうした構想は持ち続けている。切った場所をどう地元を活用してもらえるかは、引き続き玉瀬自治会にも意見を聞きながら考えていく。

サイクリングロードの話は2年前には説明会では出ておらず、本格的にはまだ議論はしていない。

●市民

世の中の動きとしては、木質バイオマスは必要になると思っている。県有環境林がたくさん残されている西谷地区は宝の山であり、関心も高いと思っている。

ただ、木質バイオマスのエネルギーとしては、発電事業は全国的に失敗しているため、しない方がよいだろうと思っている。一方、温熱の資源としては非常に有効で、日本はお風呂に入ることが多く、温かくするという意味では必要なもので、地球の地下からの資源ではいけないと思っている。ということは地表にあるものを生かし、一番身近にある資源として有効活用できるものは、この地域では木質バイオマスというものが一番大事なものになると思っている。他の人ももっとそう思ってもらいたい。

しかし、事業としては2年間行ってきたが、その成果を上げるのは難しいのだと先ほどの説明を聞いて感じた。当初からボイラーの小規模化、家庭用化、農業に活用するにはどれぐらいの初期投資が要るのかなどを聞いていた。農業は5万円ほど一月に消費をする燃料を使っているところでない、木質バイオマスを導入しても赤字が出てしまうと最初聞いていたが、今、初期投資の補助を受けたり、あるいは温熱だけを使ったりするようなシステムになるのであれば、イチゴ栽培やハウス栽培で温熱が必要な場合、可能性があるのか。

◆兵庫県

宝の山、まさにそのとおりだと思っており、化石燃料からの代替というのは、この木質バイオマスが非常に良いと思っている。

農業としての利用について、事業として成り立つかというデータは個別に様々な条件、規模感を見ながら、考える必要があるため今この場で示すのは難しい。まだ、農業という分野に我々もアタックしたことがないため、今後の参考にさせていただきたい。

●市民

2年前に、地域の活性化にもつながり、県有環境林という広い土地の有効活用もしてもらえという話を聞いていたため期待もしていたが、今日の報告を聞き、ほとんど変わっていないというのが正直な感想である。

木質バイオマスの事業モデル、実証実験については大いに賛成をするが、木質ボイラーを使う人がいないと、いくらその燃料資源があったとしても、それを伐採して有効に活用すること

ができない。ゴルフ場や、温浴施設、先ほどの農業施設などがあるが、県有環境林の広大な面積のごく一部分しか利用されていないような状況を見ると、さらに需要先の開拓をしないと、この事業展開は広がらないと思われる。これからの5年間で僅かな進展はあるかもしれないが、大きく飛躍することに期待すると、また裏切られる可能性があると思いながら聞いていた。ボイラーの需要先の開拓に積極的に取り組んでもらえるのかということ、ゴルフ場などに、実際に当たられたのかどうか、他のところへ展開していくとすればどうすればいいのかということを知りたい。

◆兵庫県

需要先を広げていくというところが、この事業は非常に大事である。ゴルフ場については、兵庫県ゴルフ協会に出向き、県内全てのゴルフ場の支配人に木質バイオマス事業とボイラーの供給について広めてもらった。

しかし、需要先で問題になるのは、ボイラーは15年、20年使う設備になるため、更新のタイミングが合うかということである。非常に興味は示されるものの、数年前にボイラーを更新したところであるといったゴルフ場が何件かあった。

また、安定供給については必ず指摘される問題である。安定供給をするために資料26ページで示しているようなコンソーシアムを作っていくが、その体制づくりが大事になるということがこの2年間で分かってきた。ゼロから始めて2年ということで、まだ成果には結びついていないのが現状であるが、一方で、この2年間で分かってきたこともあり、それが大きな成果でもある。需要を広げていくために2年間で得られた成果をうまく生かして、突き詰めていきたいと思っている。

●市民

北摂里山地域循環共生圏のビジョンに共感し、ぜひ応援したいと思っている。兵庫県が、先が見えないことにチャレンジしてきたことに敬意を表したいと思っている。

今後について教えてほしいのだが、ボイラーが売れないことから、第三者所有モデルも検討しているということだが、それを誰が行う予定なのか。また、15年～20年の期間で木質チップの安定供給が必要になると思うが、その場合、玉瀬地区のクラスターからチップを供給するというのを考えているのか、そうなった場合、兵庫県の県有環境林を切って、お金に変えるというのは難しい話だと思うが、方針を転換する予定なのか。

また安定提供できる山を確保するとあるが、これは県有環境林を想定しているのか、別の民有林を想定しているのか、民有林を想定している場合、境界の確定など別の悩ましい問題が出てくると思うが、どう考えているかを教えてほしい。

◆兵庫県

熱供給モデルについて取り組んでいる県内の事業者は神戸などに数社ある。そのため、今から開拓していくということではない。

県有環境林の伐採木を原料としたチップの有償化については、調整中であるが、事業として永続的に回るようなものにできたらと考えている。

コンソーシアムのターゲットになるのは、県有環境林、民有林とも両方である。コンソーシアムの1つの大きな目的は、安定供給の体制づくりである。それを県有環境林だけで行っていくというのは、難しいと思っている。他地域の森林組合が伐採しているのは広葉樹ではなく、針葉樹であるので、広葉樹ではないものも含めてもよいと思っている。安定供給できる体制をつくることでボイラーを導入する人が安心できるように考えている。

●市民

県有環境林を切って、販売することが可能であれば、薪にして販売できるように調整していただきたい。

●市民

西谷の森公園に温浴設備をつくってもらい、ボイラーを導入してもらえるとありがたい。

◆兵庫県

意見として承り、関係課と協議する。

●市民

猪名川町には県の温浴施設があり、リクエストとして、同じように西谷の森公園の中に、このバイオマスのボイラーを導入した温浴施設をお願いしたい。

●市民

西谷の境野で養蜂をされており、ガーデン植花夢にミツバチの巣を置いている。そこには、木質バイオマスの育苗もされていると聞いたがその辺を徳島地域エネルギーから説明してもらいたい。

■（一社）徳島地域エネルギー

ガーデン植花夢は、伐採現場に近く、何人か常駐して使わせていただくように考えている。

玉瀬地区の伐採現場及び土場と神戸市北区のバイオマスラボを往復していたが、ガーデン植花夢の近くで雨風をしのげるようチップを一時保管する予定である。また薪の乾燥や、植林に向けた育苗のためにハウスを使う予定である。

●市民

供給先が少なくても、里山をきれいにしておいていただけたらうれしい。

◆兵庫県

この事業自体は元々、化石燃料を使わずに木質バイオマスを使う脱炭素化の推進がテーマであるが、あわせて県有環境林を再生していくことも非常に大きなテーマになっており、兵庫県立大学の服部名誉教授から再生について指導をもらいながら、チャレンジしている。

●市民

裏山にあるモミジの木や、カシの木の種が飛んで、すぐに芽生える。家の周りでも、あっという間に小さな苗が出てきているのを見ると、すぐに森が埋まるのではないかと心配になる。

◆兵庫県

切った箇所がどのように再生していくか、生えてきやすいが、高い木にはならないなどの話は、専門家に見てもらいながら話を進めていきたい。

◆兵庫県

今日いただいた意見を参考にしながら、需要の開拓と事業を展開していきたいと思っている。
今後とも協力をお願いしたい。

では、これで説明会は終了する。